

## 単元名 空きようきのへんしん(工作)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 容器の形、粘土の色などから、組み合わせを見付け、工夫して工作に表すことができる。  
 (2) 小物入れを使う場面や、置く場所に合わせて、つくりたいものと考えるときに、できた作品を見せ合い、よさや面白さを感じ取ることができる。  
 (3) 日常生活で使いたくなる小物入れを、楽しんでつくろうとする。

## 標準的な展開

03080302\_001

【準備等】紙皿、空き容器、空き箱、紙粘土、粘土板、粘着テープ、粘土べら、水彩絵の具、ニス、セロハンテープ、ビーズ、おはじき、モールなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 つくりたいものを思い浮かべ、空き容器などを組み合わせ、粘着テープで接合する。          ○参考作品を見て、その面白さに気付く。  <b>★</b>使いやすく素敵な小物入れをつくろう</p> <p>○用途を考えて、どんな小物入れをつくるか考える。</p> <p>2～3 つくりたいものに合わせて色粘土を付ける。          ○使いたい色の色粘土をつくる。</p> <p>○空き容器を包むように色粘土を付ける。          ・色の感じ          ・色の組み合わせ</p> <p>4 色粘土やその他の材料も使い、飾りなどを付ける。          ○つくった作品に飾りなどを付ける。          ・色粘土で飾る          ・ビーズ、モール等の違う材料を飾る</p> <p>5 自分や友達の仕事のよいところや、実際に使った感想などを伝え合う。          ○作品を使う場面や工夫したところなどを作品カードに記入する。          ○友達の作品のよさをみんなで話し合う。</p>	<p>・教科書3・4上 P.38, 39</p> <p>・事前に空き箱、空き容器、空きトレイなどを集めておく。          ・教科書の参考作品を見て、どんな材料でつくっているかに気付かせる。          ・教科書P.39の「つくricat」を参考に作り方を確認する。          ・芯になる空き容器を、粘着テープでしっかりと固定する。          ・実際に使う場所や用途を考えながら、美しく使いやすい作品になるよう発想を広げさせる</p> <p>【評】どこで、どのように使うのか、計画を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】実際に使うことを考えながら、使ってみたい小物入れを楽しくつくる活動を通して、「主体的に学習に取り組む能力」を評価する</p> <p>・指に絵の具を付けて、紙粘土に混ぜ、使いたい色の色粘土をつくる。          ・色粘土は乾かないようポリ袋に入れる。          ・丈夫さ、使いやすさも考えて、粘土を付けさせる。          【評】容器を組み合わせた形や、粘土を使い飾りの形や色を工夫する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・様々な色や素材の組み合わせを試し、発想を広げさせる。</p> <p>・作品やカードを見やすいところに展示したり実際に作品を使ったりして楽しむ。          ・作品のよいところを伝え合うようにする。          【評】できた作品を見せ合いながら、工夫した点や面白いと感じたところを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          【評】作品やこれまでの学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

## 【 備 考 】